

「人・まち・自然が調和し、躍動するまち ～誇り高い沼津を目指して～」

沼津市は、北に富士山を望み、日本一深い駿河湾を囲む美しい海岸線や愛鷹山、さらに香貫山から連なる沼津アルプスの山々、そして街中には狩野川がゆったりと流れる自然に恵まれた都市です。

こうした海・山の自然を背景に、お茶やみかん、あじのひらきなどに代表される農業や水産業、自然条件やユニークな深海生物を活かした観光、東部地域の中心をなす商業、先端技術を誇る工業など、多様な産業がバランスよく発展してきました。

沼津港は、首都圏からも多くの人々が訪れる一大観光スポットとなっており、また、沼津駅周辺には日本屈指といえるBAR文化が息づくなど、夜のまちもにぎわいをみせます。



沼津市データ

沼津市は、静岡県内では静岡市、浜松市に次ぐ3番目の市として誕生しました。

人口	187,545人
世帯数	93,731世帯
海岸線延長	64.491km
面積	186.85km ²
市制施行	大正12年7月1日

※人口は、令和6年2月1日現在の情報です。
※面積は、令和6年10月1日現在の国土地理院による情報です。



市章

沼津の「ヌ」と、名勝として名高い千本松原の松葉を組み合わせたものです。



市の木「松」

富士山を背景とし美しい景観を織り成す千本松原は、若山牧水や井上靖の作品にも描かれており、沼津ゆかりの木として古くから人々に愛されています。



市の花「はまゆう」

万葉集にも歌われた名花。木綿(ゆう)のような花を付けることから名付けられました。初夏には白い繊細な花が咲き、美しい葉は観葉植物としても知られています。